

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：都市計画課

担当課長名：新谷則尋

事業名	内環状線（石江）	事業区分	街路（一般県道）	事業主体	青森県
起終点	自：青森県青森市石江 至：青森県青森市石江	延長	0.9km		

事業概要

内環状線は国道7号(外環状)から放射環状(国道103号、一般県道)と交わり、国道7号バイパス(放射)に至る延長約1.2Kmの主要幹線道路であるほか、新幹線駅予定地へのアクセス道路でもあり重要な路線である。本工区はJR奥羽本線との立体交差を含む延長0.9Kmの4車線道路である。

事業の目的、必要性

市内の慢性的な交通混雑の緩和、南北両地域の連絡強化、主要交通拠点(新幹線駅)へのアクセス向上が図られ、都市交通のネットワークの円滑化になり、広域交通に対応した道路網が形成され、地域活動の発展に大きく寄与するものである。

全体事業費	110億円		計画交通量	17,200台/日	
費用便益分析結果	B/C	6.9	総費用	83億円	
			（事業費：82億円） （維持管理費：1億円）	総便益	576億円
			（走行時間短縮便益：565億円） （走行費用減少便益：11億円） （交通事故減少便益：0億円）	基準年	平成15年

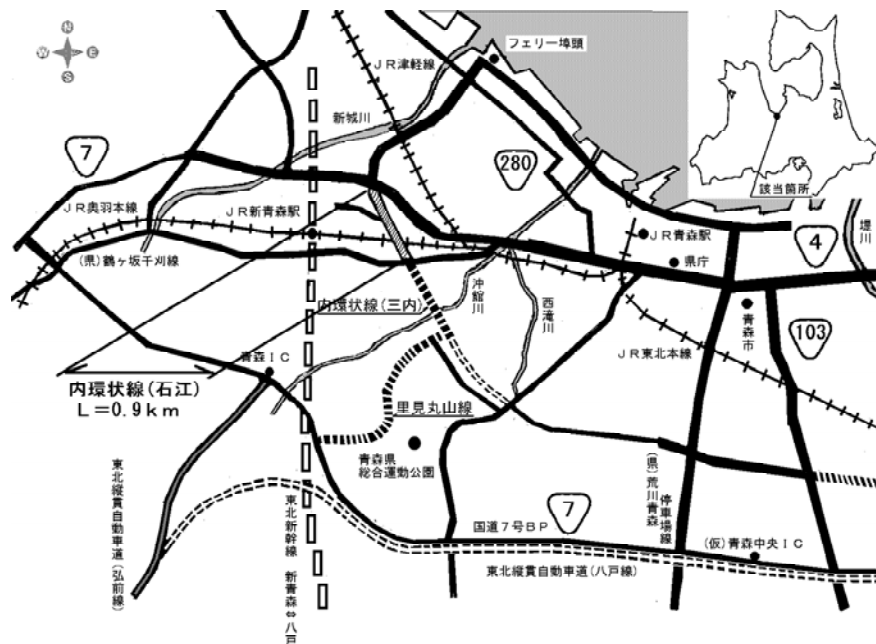
事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる）
- ・物流効率化の支援（重要港湾青森港へのアクセス向上が見込まれる）
- ・都市の再生（広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路の形成ができる）
- ・個性ある地域の形成（鉄道で一体的な発展が阻害されている地域を解消されるとともに主要な観光地である三内丸山遺跡へのアクセス向上が期待される）

関係する地方公共団体等の意見

内環状線は地域交流の促進、交通混雑の緩和さらに重要施設へのアクセス向上に重要な役割を果たすことが期待され、早期完成に向け関連事業と一体となった整備を進めている。

事業概要図



凡例	
	供用中
	事業中(他工区)
	事業中(本工区)
計画交通量	17,200台/日
推定所要時間	0.80分
整備しない場合	4.37分